



1年学年だより

発行日：令和2年9月30日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦

NO. 4

創立記念日に想う

校長代理 白田 淳子

みなさん、南高祭お疲れさまでした。あまりの暑さのため、体育祭は延期となりましたが、充実した3日間を過ごすことができました。私は中学のすべてのクラスと中学生が関わっている部活動の展示や発表を見ることができました。どのクラスも短い準備期間でクオリティーの高い展示物を創り上げていて、さすが附属中生だなあと感心しました。特に当日は、案内役の生徒がクイズのヒントを出したり、ミニゲームをリードしたりと、“展示物”だけでなく、より効果的な展示発表のために工夫を凝らしていました。とても楽しませてもらいました。

保護者の方や本校を目指す小学生に見てもらえなかったことは残念ですが、このような社会状況でも南高祭が開催できたということはとても幸せです。様々な制限のある中で自分たちの力で楽しみを創り出せる、南高生・附中生の底力が垣間見えた行事でした。

さて、話は変わりますが、10月1日は何の日でしょうか。横浜市立南高等学校附属中学校は平成23年10月1日に創立されました。よって10月1日は本校の創立記念日です。今回の学年だよりでは、本校の開校の歴史に触れたいと思います。

平成21年11月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針」を発表

平成22年5月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校基本計画」を策定

平成23年4月 開設準備室が南高等学校内に設置され準備を開始

平成23年5月 「横浜市立学校条例」の一部が改正され、本校の開校が正式に決定

平成23年10月1日 本校が開校

平成24年4月1日 1期生が入学 開校宣言（下の枠内）

そして今年度、本校は開校して9年目になりました。市立中高一貫教育校という新しい形態で6年間の安定した環境の中で、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成を目指すという想いが込められて開校した学校です。歴史ある南高校から見れば、たった9年かもしれませんが、たくさんの人の期待と努力でできた学校です。式典や紅白饅頭はありませんが、創立記念日の機会に、そのような学校で学んでいることの誇りと喜びを感じてほしいと思います。実際に開校準備に関わった先生がまだ本校にいらっしゃるので、お話を聞いてみるのもいいかもしれません。

日々の活動の中で、心と体、学力と人間性を成長させて、横浜から世界へ羽ばたいてください。

開校宣言
平成二十四年四月一日をもって
横浜市立南高等学校附属中
学校を開設します
横浜市立南高等学校との一貫
教育により、高い学力と豊かな人
間性をはぐくみ、高い志と幅広い
視野をもって世界で活躍できる
人間を育成する中学校として
発展することを期待し、ここに
開校を宣言します。
平成二十四年四月一日
横浜市教育委員会

*実物が校長代理室にあります。見に来てください。

はじける笑顔!南高祭展示の部

1年生にとって初めての南高祭展示の部が、9月5日(土)～6日(日)に開催されました。新型コロナウイルス感染予防対策として外部のお客さんをお呼びしない形での開催となりましたが、9期生は初めて受付接客をしたり、全校の展示を見学したり、存分に楽しむことができました。

南高祭の開幕と同時に、食堂に新しく設置された大型テレビで、高校2年生の風の章『おとぎの僕らとアイデンティティ』をビデオ視聴しました。脚本も撮影も編集もCGもすべて先輩方の手によるものだと聞いてびっくり。さらに日々の学校生活の中に潜む中高生の心の在りようが描かれたストーリーにくぎ付け。高校生になるとこんなことができるのか…と憧れの気持ちでいっぱいになりました。風の章のあとは、クラス展示の呼び込みや受付接客を分担しながら、全校の展示を自由に見学して回りました。学年が上がるにつれてクラス展示の完成度も自由度もあがっていくことを実感しているような、9期生のはじける笑顔があちらこちらで見られました。

1年生の学年展示はEGG学習の「世界を幸せにする第一歩」を大テーマに、一人ずつ調べたことを新聞形式にまとめ、それらを掲示しました。クラステーマに沿って教室を精一杯装飾し、新聞を読んでもらうためにクイズなどの工夫を凝らしました。先輩方も中学1年生の展示を応援しようとたくさん来場してくれました。先輩方も1年生の時にEGG新聞を書いているので、懐かしさがあるようです。学校が6月に再開してからのEGGの授業の中で、9期生がなんとか新聞を作り上げたことに、先輩方は「すごいなあ。よく頑張ったなあ。」と感心していました。来年は10期生を応援してあげられる先輩になりたいですね。各クラスの展示準備を引っ張ってくれた委員さんの言葉を紹介します。

1年1組 展示・舞台の部委員 さん、 さん、 さん、 さん

EGG クラステーマ 『異文化理解』
南高祭展示タイトル 『異文化理解部広報課』

南高祭で1組は、多くの意見を取り入れ、協力し合い、工夫しながら、1組らしさがあふれるクラス展示を作り上げることができました。その中でも陰で頑張ってくれた人、様子を見ながら指示を出していた人、一生懸命装飾を作ってくれた人。みんなの知らなかった一面を見ることができました。これからも1組をよりよいクラスにしていきましょう!



1年2組 展示・舞台の部委員 さん、 さん、 さん、 さん

EGG クラステーマ 『支援活動』
南高祭展示タイトル 『今日から俺たちは!支援してもいいとも!』

1年2組では、クラステーマの「支援活動」を決める時や、準備期間中に学級目標であるTAKOの「T/互いを尊重」を意識して「K/協力」ができたと思います私たちはクラスみんなの仲の良さや互いを思いやれる気持ちなど“みんなでできる”という2組の良さがあると感じました。「2組をもっと思い出に残るクラスにしたい」と思いました。



1年3組 展示・舞台の部委員

さん、

さん、

さん、

さん

EGG クラステーマ『人とつながる』

南高祭展示タイトル『つながれ！さんくみの森』

3組は、「つながれ！さんくみの森」というタイトルで活動しました。教室装飾では、森の感じを出すためにBGMを流したり、装飾物をクラス一丸となって作りました。そのため、3組らしさがあふれた、ユーモアたっぷりの装飾となりました。このクラスの良いところ。それは、クラス全員で団結できること、どんな状況でもみんなで楽しめることです。



1年4組 展示・舞台の部委員

さん、

さん、

さん、

さん

EGG クラステーマ『30年後の未来』

南高祭展示タイトル『未来予想図2050』

私たちのクラスは「未来予想図2050」という展示を行いました。南高祭を通して発見した4組のよいところは、「意見の多様性」です。クラステーマを決める時からたくさんの意見が出て、みんなにとって最良な結果になったと思います。もめることもありましたが、準備期間から片付けまで全員で進んで活動できて最高の展示になったと思います。



後期 EGG ゼミスタート!

後期 EGG ゼミは、前期 EGG 新聞を踏まえて、自分たちで実践を行い、それらの経過や結果をポスターセッション形式で発表します。さっそく、実践方法を二つ学びました。

一つめは「アンケートの取り方」です。アンケートの取り方の手順を学びつつ、クラスの実態調査を行いました。『酒井先生と山口先生はどれくらい似ていると思うかアンケート』なども飛び出しました。どんな結果が出たのでしょうか？

二つめは「インタビューの仕方」です。9月26日(土)に読売新聞記者の石橋大祐さんをお招きした EGG 講座「読売新聞 言葉の時間」で、教えていただきました。アンケートもインタビューも、とても有力な情報収集方法です。3年間の様々な学習に幅広く生かしていきましょう。



長月の福袋

夏休みが明けてからも長らく猛暑に悩まされ、中学校の体育祭は10月に延期となりました。そして10月には4月に予定していたPAA in 南高もあります。南高祭で仲良くなってきた仲間と、さらにもっとお互いに知り合い、協力し合いましょう。試行錯誤しながら、身も心も大きくなあれ！仲間作りはこれからです。